

複数の Cisco Webex player 脆弱性

Critical	アドバイザーID : cisco-sa-20110201-webex	CVE-2010-3269
	初公開日 : 2011-02-01 16:00	CVE-2010-3044
	バージョン 1.0 : Final	CVE-2010-3043
	CVSSスコア : 9.3	CVE-2010-3042
	回避策 : Yes	CVE-2010-3041
	Cisco バグ ID :	

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

複数のバッファオーバーフローの脆弱性は Cisco WebEx レコード形式 (WRF) および高度レコード形式 (ARF) プレイヤーにあります。場合によっては、脆弱性の不正利用はリモート攻撃者がターゲットとされたユーザのシステムの任意のコードを実行することを可能にする可能性があります。

Cisco Webex player はオンライン会議出席者のコンピュータに記録されたプレイバック WebEx 会議録音に使用するアプリケーションです。プレイヤーは時ユーザアクセス記録ファイル自動的にインストールすることができます WebEx サーバでホストされる。プレイヤーはまたオフ・ライン再生のために www.webex.com からのアプリケーションをダウンロードした後手動でインストールすることができます。

WebEx レコードプレーヤが自動的にインストールされた場合、それは WebEx サーバでホストされる最新、非脆弱なバージョンに自動的にユーザが記録ファイルをアクセスする場合アップグレードされます。WebEx レコードプレーヤが手動でインストールされた場合、ユーザは手動で www.webex.com からの最新バージョンをダウンロードした後プレイヤーの新しいバージョンをインストールする必要があります。

シスコはこれらの脆弱性に対処するソフトウェア アップデートを提供しています。

このアドバイザリは <http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20110201-webex> で掲示されます。

該当製品

修正済みソフトウェア

この諮問影響で表われる脆弱性 Cisco WebEx レコード プレーヤ。プレーヤーの Microsoft ウィンドウ、Apple Mac OS X および Linuxバージョンはすべて影響を受けます。プレーヤーの影響を受けたバージョンはクライアント ビルド T27LC SP22 および T27LB SP21 EP-3 以前それらです。

、ユーザは Cisco WebEx サーバにログイン Cisco WebEx サーバが WebEx クライアント ビルドの影響を受けたバージョンを動作しているかどうか判別し、サポート > ダウンロード セクションに行くためにできます。WebEx クライアントのバージョンがページ右側の [Support Center について (About Support Center)] の下に表示されます。詳細については「ソフトウェア バージョン および 修正」を参照して下さい。

Cisco は www.webex.com/downloadplayer.html から利用可能であるプレーヤーのほとんどの最新バージョンにことをユーザ アップグレード推奨します。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他のシスコ製品においてこのアドバイザリの影響を受けるものは、現在確認されていません。

改訂履歴

リビジョン 1.0	2011-Feb-01	初回公開リリース
--------------	-------------	----------

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。